

平成28年2月29日

足立区立第九中学校

学校長 海老原 昌巳 様

足立区立第九中学校 開かれた学校づくり協議会

会長 廣瀬 立男

平成27年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

- 一昨年までのフォーマットに戻ったが、ポイントを纏めわかりやすく作られている。
- 取り組みにおける達成度に△（達成せず）が3つあるが、厳しめにつけている印象を受ける。
- 総じておおむね達成できており、校長をはじめとする先生方の努力が感じられる。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 重点目標1…学力の向上（生徒の学力の定着を図る）

区学力調査において3年数学、2年英語などトップクラスの成績を収めたのは素晴らしい。数学は習熟度別授業の良さを活かし、一人ひとりのニーズに合わせた展開や復習方法の工夫など今後も継続し、英語はオールイングリッシュの授業環境の継続発展に今後も努めるとのこと、期待したい。ESLの個に応じた底上げ復習も成果を残しており、継続を期待する。

- 重点目標2…健全育成（生徒の心身の健全育成を図り、学校生活を充実・向上する）

学校生活の満足度が65%と目標の65%と同じ割合である。「やや満足している」を加えると95%となり素晴らしい数値といえる。学習意欲の向上は「よく努力している」が33%と物足りないが、「少し努力している」を加えると80%となるので良好といえる。部活動に関する数値も、九中らしい良好な数値であった。また、服務事故の発生がなかったのは何よりで、今後も引き続き先生方の努力と工夫をお願いしたい。

- 重点目標3…小中の連携（算数と数学、小学校で強まる英語指導の小中連携など、授業研究を中心に教科連携を深める）

10回にわたる教科連携研究を進め、成果と課題を冊子にまとめるなど、小中連携の度合いは明らかに深まっている。生徒と児童の交流も計画通り実施でき、小学校からも好評を得ており、引き続き連携を深めて、九中への入学者増に繋げてほしい。

- 保護者・地域への期待

恒例となった全教員と協議会との面談が九月にあり、今年も有意義な情報交換ができた。このように今後も継続することで、より良い学校経営に活かしてほしい。

3. その他

- 国会議員、都教委など総勢24名がわが校の英語の授業を視察に来たのは特筆すべきことで、九中がスポーツだけではないことの証明といえる。

○相変わらず、文化祭での英語劇や弁論大会での表現力の高さは素晴らしい。インプットのみならずアウトプットにも力を入れている点は評価に値する。もはや九中の伝統芸ともいえる。

- 数学、英語の素晴らしさはわかったが、その他の教科についてもレベルアップを期待する。